

愛に生き

真に生き

美に生きる

深川市立一已中学校 学校だより 12/15

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341 FAX：0164-22-3653

<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiyan-jh/index.html>

言葉って難しいなあ

校長 坂本 征人

仕事柄様々な方のお話を聴く機会に恵まれています。最近聴いたお話の中で気になった言葉がありましたので、その中の2つを紹介して学校だよりで皆さんと共有したいと思います。

【ポリティカルコレクトネス】

社会の特定のグループのメンバーに不快感や不利益を与えないように意図された政策または対策などを表す言葉の総称で、人種、信条、性別などの違いによる偏見や差別を含まない中立的な表現や用語を用いることを指すのだそうです。

私が聴いた講演では「LGBT」について話されていました。LGBは性的指向、Tは性自認のことで、セクシャリティーは身体性（生物学的な性）、性自認（どのような性と意識しているのか）、性的指向（どの性を好きになるのか）、性表現（どのような性として自分を表現したいのか 服装や髪型等）の4つで考えているようです。その組み合わせを考えると、とてもたくさんの言葉を使って表現しなくてはならないことになります。（だからLGBTQ+であったりSOGIという表現になったりするのだろうか）また、看護婦・看護師という呼称を、性別を問わない「看護師」に統合したことや、母子健康手帳という名称を父親の育児参加を踏まえて「親子手帳」に変更したこと、肌色をうすだいたいと表現することなども話されていました。

多様性が求められている時代の中で、偏見や差別を生まない表現は大切なことですし、様々な配慮は必要ですが、どこまで考えればよいのか、すべての人が一様に寛容であれば・・・と思いながら聴いていました。

【ネガティブケイパビリティ】

不確実なものや未解決のものを受容する能力を記述した言葉で、「消極的能力」「消極的受容力」「否定的能力」などと訳されることが多いようですが、「どうにもならない状況でも、急いで答えをださず自分なりの答えがあらわれるのを待つ力」と捉えることができるようです。

物ごとには答えがあり、それがスピーディに分かるのができる人であり優れた人であるという、ポジティブ・ケイパビリティの方を日常では評価しがちです。しかし世の中1+1=2のように単純に理解できることばかりではなく、人の心の問題であれば「わかっている」と考えていても、もしかすると「わかったつもり」の状態なのかもしれません。

不確実さや未解決から生じる不安をネガティブにとらえず、ポジティブにとらえると、不安があるから、準備をし、リスクを回避できる。不安があるから大胆に性急に行動しないと考えることができます。調べれば何らかの答えがすぐ手に入るインターネットの普及を背景に、ネガティブ・ケイパビリティを養う機会が少なくなっているかもしれません。

くよくよ悩むのも答えが見つからないのも、さほど悪いことではないですし、むしろ、安易な解決方法に飛びつくことなく色々と悩み続けるからこそ、見えてくるものがあるのではないのでしょうか。

福祉実践教育（2年車いす講座）

車いすの操作・試乗体験を通して、障がいのある人や介助する人の立場に立った疑似体験をしました。配慮について考え、助け合う気持ちの大切さを知ることができました。車いすのほかにも、視覚障がいの疑似体験も実施しました。



バーチャル授業を体験（1年社会科）

昨年7月に世界遺産に登録された北海道・北東北の縄文遺跡群について、専門家による出前授業が本校で行われました。空知管内では本校のみの実施です。バーチャルを使って遺跡巡り体験したり、実際の出土品に触れたりしました。



ひとりで悩まないで ～相談窓口をお知らせします～

まもなくやってくる冬季休業は、生徒が学校を離れて、家庭や地域の中で、北国の冬に親しみながら心身を鍛えたり、新たな決意をもって一年の計画を立てたりするなど、自主的・自律的に生きる力を身に付けるよい機会です。また、自然体験活動やボランティア活動などの体験を通して、他者への思いやりの心の大切さや生命の尊さを実感するなど、豊かな人間性を培う上でも有意義な機会です。

一方、長期休業中は生徒の生活が不規則になること、問題行動や不慮の事故が発生しやすいことなどが懸念されます。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴う生活環境の変化により、日頃から生徒はさまざまな不安やストレスを抱えているものと考えられます。

保護者の皆さまには、お子さんの悩みや相談を広く受け止めることができるよう家庭での見守りをよろしく願います。また冬季休業前に改めて、国や北海道の各種相談窓口を別紙にてお知らせします。ご確認ください。

学校に相談したいことがございましたら遠慮なくお知らせください。

【深川市の相談窓口】

- 心の窓少年相談室（深川市教委） TEL 090-1642-1859
- こころの相談（深川保健所） TEL 0164-22-1421

学校評価アンケート ～ありがとうございました～

保護者アンケートにご協力ありがとうございました。アンケートの結果は学校だよりや学校ホームページにて報告いたします。いただいた様々なご意見に対しては今後のよりよい学校運営に生かしてまいります。今後も本校教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。